CASBEE-NCb_2010v1.6.xls AJP

CASBEE-新築(簡易版)2010年版 ■使用評価マニュアル CASBEE-新築 (簡易版) 201(欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト: CASBEE-NCb 2010(v.1.6) 厚生棟 スコアシー 実施設計段階 建物全体·共用部分 住居 · 宿泊部分 配慮項目 環境配慮設計の概要記入欄 全体 重み 重み 評価点 評価点 係数 係数 Q 建築物の環境品質 Q1 室内環境 1 音環境 3.7 0.40 3.2 3.6 0.15 3.6 0.40 3.0 室内騒音レベル 1 3.0 1.00 **※※※資産を対策** 燹 1.2 遮音 4.6 0.40 サッシ遮音性能T-2 開口部遮音性能 5.0 0.60 界壁遮音性能Dr-40以上 0.40 界壁遮音性能 界床遮音性能(軽量衝擊源) 3 4 界床遮音性能(重量衝擊源) 1.3 吸音 3.0 0.20 2 温熱環境 2.5 0.35 2.5 2.1 室温制御 3.3 0.50 1 室温 ※※**食務水砂、急味料剤性** 3.0 0.38 ****** 3 外皮性能 0.25 3.0 ゾーニング別に冷媒系統を分けている -ン別制御性 4.0 0.38 2.2 湿度制御 3.0 0.20 2.3 空調方式 1.0 0.30 3 光·視環境 2.9 0.25 2.9 3.1 昼光利用 1.8 0.30 1 昼光率 1.0 0.60 2 方位別開口3 昼光利用設備 *********** 3.0 0.40 4.0 0.30 ******** ブラインド+庇 1.00 ********* 3.3 照度 3.0 0.15 3.4 照明制御 3.0 0.25 4 空気質環境 4.2 4.2 0.25 4.1 発生源対策 5.0 0.50 F☆☆☆☆または規制対象外材料をほぼ全面に使用 化学汚染物質 5.0 1.00 0.30 4.2 換気 3.0 換気量 0.33 3.0 3.0 0.33 自然換気性能 3.0 0.33 4.3 運用管理 4.0 0.20 1 CO₂の監視 3.0 0.50 2 喫煙の制御 喫煙室を設置 5.0 0.50 Q2 サービス性能 0.30 3.9 1 機能性 4.1 0.40 4.1 1.1 機能性・使いやすさ 3.0 0.40 1 広さ・収納性 2 高度情報通信設備対応 1人あたりの執務スペースを9㎡以上確保 4.0 0.33 2 1.0 0.33 福岡県福祉のまちづくり条例整備基準に同等 0.33 3 バリアフリー計画 4.0 1.2 心理性·快適性 4.6 0.30 1 広さ感・景観 事務室の天井高2.7m 4.0 0.33 リフレッシュスペース 喫煙室、リフレッシュスペース、自販機置場あり 5.0 0.33 3 内装計画 建物全体のコンセプトを基に内装・照明計画を立案 5.0 0.33 1.3 維持管理 5.0 0.30 維持管理に配慮した設計 メンテナンス性に優れた素材の選定 5.0 0.50 SK、用具庫を適切に配置 5.0 0.50 2 耐用性 信頼性 3.4 0.31 3.4 0.48 2.1 耐震·免票 3.8 25%以上の耐震性能を確保 耐震性 4.0 0.80 1 2 免震·制振性能 3.0 0.20 2.2 部品・部材の耐用年数 2.9 0.33 躯体材料の耐用年数 3.0 0.23 2 外壁仕上げ材の補修必要間隔 3.0 0.23 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 3.0 0.09 空調換気ダクトの更新必要間隔 3.0 0.08 5 空調・給排水配管の更新必要間隔 給水管VLP 排水管VP 4.0 0.15 主要設備機器の更新必要間隔 2.0

CASBEE-NCb_2010v1.6.xls スコア

		1=+x til	1	l i	0.10	DOOOOOOO		
	2.4	<u>信頼性 </u>		3.6	0.19	*************************************	-	
		1 空調・換気設備	空調熱源二重化(ガス・電気)、個別方式による系統の細分化	4.0	0.20	**********	-	
		2 給排水・衛生設備	節水器具採用・給水系統の細分化・非常用排水貯留槽設置	5.0	0.20	**********	-	
		3 電気設備		3.0	0.20	*************************************	-	
		4 機械·配管支持方法		3.0	0.20	**************************************	-	
		5 通信・情報設備		3.0	0.20	***************************************	-	
3	対応	性•更新性		4.2	0.29	***************************************	-	4.2
	3.1	空間のゆとり		5.0	0.31	***************************************	-	
		1 階高のゆとり	階高4.8M確保	5.0	0.60	88888888888	_	
		2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.1未満	5.0	0.40	**************************************	_	
	32	と 荷重のゆとり	4500N/㎡以上	5.0	0.31	***************************************	_	
	_	設備の更新性	100011/1115/12	3.0	0.38	***************************************		
	3.3		-	3.0		***************************************	-	
		1 空調配管の更新性			0.17	**********	-	
		2 給排水管の更新性		3.0	0.17	**********	-	
		3 電気配線の更新性		3.0	0.11	*************************************	-	
		4 通信配線の更新性		3.0	0.11	BXXXXXXX	-	
		5 設備機器の更新性		3.0	0.22	B88888888	-	
		6 バックアップスペース		3.0	0.22	RXXXXXXX	-	
Q3	室外	環境(敷地内)		_	0.30	-	-	4.2
		環境の保全と創出	潜在的植生の再生	4.0	0.30	188888888888		4.0
						 	_	
2	まちな	こみ・景観への配慮	市民に開放された森の整備、景観に配慮した外装	5.0	0.40	***************************************	-	5.0
3	地域性	性・アメニティへの配慮		3.5	0.30	***************************************	-	3.5
		地域性への配慮、快適性の向上	市民に開放された森の整備、庇の設置	4.0	0.50	XXXXXXXX	-	
		! 敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	*************************************	_	
LB		物の環境負荷低減性						3.6
					6.45			
		ルギー	No. 44 M. A. Tr Vir. L. Hr. m Hr. Co. M.	-	0.40	-	-	4.3
1	建物	の熱負荷抑制	断熱性の高い資材使用・PAL値低減39.7%	5.0	0.30	*************************************	-	5.0
2	自然	エネルギー利用		3.5	0.20	XXXXXXX	-	3.5
		自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	*************************************	-	
		! 自然エネルギーの変換利用	太陽光パネルを設置	4.0	0.50	*************************************	_	
2		システムの高効率化		5.0	0.30	*************************************	-	5.0
٦	DX I/RI -				0.00	 		0.0
		集合住宅以外の評価(ERRによる評価)	ERR=35.3%	5.0		B888888888		
		集合住宅の評価		************		**************************************		
4		的運用		3.0	0.20	RXXXXXXXX	-	3.0
	4.1	モニタリング		3.0	0.50	B888888888	-	
	4.2	! 運用管理体制		3.0	0.50	B888888888	-	
LR2	資源	・マテリアル		_	0.30	-	-	3.0
		源保護		3.0	0.15	1888888888	-	3,0
•		節水		3.0	0.40	 	-	
						R8888888888888888888888888888888888888		
) 恵む利用・雄排ル笠の利用			0 60			
	1.2	2 雨水利用・雑排水等の利用	-	3.0	0.60	*************************************	-	
	1.2	1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67		-	
		1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0 3.0	0.67 0.33		- - -	
2	非再生	1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 生性資源の使用量削減		3.0 3.0 2.8	0.67 0.33 0.63		- - -	2.8
2	非再 <u>4</u> 2.1	1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 生性資源の使用量削減 材料使用量の削減	主要躯体の鉄骨基準強度F=355N以上F=440未満	3.0 3.0 2.8 4.0	0.67 0.33 0.63 0.07		- - -	2.8
2	非再生 2.1 2.2	1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 生性資源の使用量削減 材料使用量の削減 2 既存建築躯体等の継続使用		3.0 3.0 2.8	0.67 0.33 0.63		- - - -	2.8
2	非再生 2.1 2.2 2.3	1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 生性資源の使用量削減 材料使用量の削減 2 既存建築躯体等の継続使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	主要躯体の鉄骨基準強度F=355N以上F=440未満 -	3.0 3.0 2.8 4.0	0.67 0.33 0.63 0.07		-	2.8
2	非再生 2.1 2.2 2.3	1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 生性資源の使用量削減 材料使用量の削減 2 既存建築躯体等の継続使用	主要躯体の鉄骨基準強度F=355N以上F=440未満 -	3.0 3.0 2.8 4.0 3.0	0.67 0.33 0.63 0.07 0.24		-	2.8
2	非再生 2.1 2.2 2.3 2.4	1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 生性資源の使用量削減 材料使用量の削減 2 既存建築躯体等の継続使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	主要躯体の鉄骨基準強度F=355N以上F=440未満 -	3.0 3.0 2.8 4.0 3.0 3.0	0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20		-	2.8
2	非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5	1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 生性資源の使用量削減 材料使用量の削減 URFの建築躯体等の継続使用 3 駆体材料におけるリサイクル材の使用 1 非構造材料におけるリサイクル材の使用	主要躯体の鉄骨基準強度F=355N以上F=440未満 -	3.0 3.0 2.8 4.0 3.0 3.0 1.0	0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.20		- - - - - - - -	2.8
	非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6	1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 生性資源の使用量削減 材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 非構造材料におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材	主要躯体の鉄骨基準強度F=355N以上F=440未満 - -	3.0 3.0 2.8 4.0 3.0 3.0 1.0 2.0	0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.20 0.05		- - - - - - - - -	2.8
	非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 万染料	1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 生性資源の使用量削減 材料使用量の削減 ! 既存建築躯体等の継続使用 の躯体材料におけるリサイクル材の使用 非構造材料におけるリサイクル材の使所 持続可能な森林から産出された木材 の再利用可能性向上への取組み	主要躯体の鉄骨基準強度F=355N以上F=440未満 - -	3.0 3.0 2.8 4.0 3.0 3.0 1.0 2.0 4.0	0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.20 0.05 0.24		-	
	非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染料	1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 生性資源の使用量削減 材料使用量の削減 2 既存建築躯体等の継続使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 3 非構造材料におけるリサイクル材の使用 5 持続可能な森林から産出された木材 3 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用	主要躯体の鉄骨基準強度F=355N以上F=440未満 内装材と設備を錯綜を避ける計画	3.0 3.0 2.8 4.0 3.0 1.0 2.0 4.0 3.6 5.0	0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.05 0.24 0.22		-	
	非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染料	1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 生性資源の使用量削減 材料使用量の削減 2 既存建築躯体等の継続使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 3 非構造材料におけるリサイクル材の使用 5 持続可能な森林から産出された木材 3 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 2 フロン・ハロンの回避	主要躯体の鉄骨基準強度F=355N以上F=440未満 内装材と設備を錯綜を避ける計画	3.0 3.0 2.8 4.0 3.0 3.0 1.0 2.0 4.0	0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.20 0.05 0.24		-	
	非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染料	1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 生性資源の使用量削減 材料使用量の削減 2 既存建築躯体等の継続使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 3 非構造材料におけるリサイクル材の使用 5 持続可能な森林から産出された木材 5 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 2 フロン・ハロンの回避 1 消火剤	主要躯体の鉄骨基準強度F=355N以上F=440未満 内装材と設備を錯綜を避ける計画	3.0 3.0 2.8 4.0 3.0 3.0 1.0 2.0 4.0 3.6 5.0	0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.05 0.24 0.22 0.32 0.68		-	
	非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染料	1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 生性資源の使用量削減 材料使用量の削減 ・	主要躯体の鉄骨基準強度F=355N以上F=440未満 内装材と設備を錯綜を避ける計画	3.0 3.0 2.8 4.0 3.0 3.0 1.0 2.0 4.0 3.6 5.0 3.0	0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.05 0.24 0.22 0.32 0.68		-	
3	非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 万染特 3.1	1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 生性資源の使用量削減 材料使用量の削減 5 既存建築躯体等の継続使用 5 躯体材料におけるリサイクル材の使用 5 非構造材料におけるリサイクル材の使用 5 持続可能な森林から産出された木材 6 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 2 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒	主要躯体の鉄骨基準強度F=355N以上F=440未満 内装材と設備を錯綜を避ける計画	3.0 3.0 2.8 4.0 3.0 3.0 1.0 2.0 4.0 3.6 5.0	0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.05 0.24 0.22 0.32 0.68 - 0.50 0.50		-	3.6
3 LR3	非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染特 3.1 3.2	1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 生性資源の使用量削減 材料使用量の削減 ! 既存建築躯体等の継続使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 非構造材料におけるリサイクル材の使用 非構造材料におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 6 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 ! フロン・ハロの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境	主要躯体の鉄骨基準強度F=355N以上F=440未満 内装材と設備を錯綜を避ける計画 4項目以上の有害物質を含まない材料あり	3.0 3.0 2.8 4.0 3.0 3.0 1.0 2.0 4.0 3.6 5.0 3.0 -	0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.05 0.24 0.22 0.32 0.68 - 0.50 0.50	-	-	3.6
3 LR3	非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染特 3.1 3.2	1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 生性資源の使用量削減 材料使用量の削減 2 既存建築躯体等の継続使用 3 非構造材料におけるリサイクル材の使用 3 非構造材料におけるリサイクル材の使用 3 非構造材料におけるリサイクル材の使用 3 持続可能な森林から産出された木材 6 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 2 フロン・ハロの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮	主要躯体の鉄骨基準強度F=355N以上F=440未満 内装材と設備を錯綜を避ける計画	3.0 3.0 2.8 4.0 3.0 3.0 1.0 2.0 4.0 3.6 5.0 3.0 - 3.0 - 4.0	0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.05 0.24 0.22 0.32 0.68 - 0.50 0.50 0.33		-	3.4 4.0
3 LR3	非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染特 3.1 3.2	1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 生性資源の使用量削減 材料使用量の削減 と既存建築躯体等の継続使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 3 非構造材料におけるリサイクル材の使用 5 持続可能な森林から産出された木材 6 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 2 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 小環境 温暖化への配慮 環境への配慮	主要躯体の鉄骨基準強度F=355N以上F=440未満 内装材と設備を錯綜を避ける計画 4項目以上の有害物質を含まない材料あり	3.0 3.0 2.8 4.0 3.0 3.0 1.0 2.0 4.0 3.6 5.0 3.0 3.0 4.0 4.0 3.6	0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.05 0.24 0.22 0.32 0.68 - 0.50 0.50 0.33	-	-	3.6
3 LR3	非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染针 3.1 3.2 ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 性性資源の使用量削減 材料使用量の削減 と既存建築躯体等の継続使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 排精造材料におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 3 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 こフロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 環境への配慮 環境への配慮 環境への配慮	主要躯体の鉄骨基準強度F=355N以上F=440未満 内装材と設備を錯綜を避ける計画 4項目以上の有害物質を含まない材料あり	3.0 3.0 2.8 4.0 3.0 1.0 2.0 4.0 3.6 5.0 3.0 - 3.0 - 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.05 0.24 0.22 0.68 - 0.50 0.50 0.33		-	3.4 4.0
3 LR3	非再5 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 万染料 3.1 3.2 地球派 地域派	1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 生性資源の使用量削減 材料使用量の削減	主要躯体の鉄骨基準強度F=355N以上F=440未満 内装材と設備を錯綜を避ける計画 4項目以上の有害物質を含まない材料あり	3.0 3.0 2.8 4.0 3.0 1.0 2.0 4.0 3.6 5.0 3.0 - 3.0 - 3.0 - 3.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.05 0.24 0.22 0.68 - 0.50 0.50 0.33 0.33		-	3.4 4.0
3 LR3	非再5 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 万染料 3.1 3.2 地球派 地域派	1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 性性資源の使用量削減 材料使用量の削減 と既存建築躯体等の継続使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 排精造材料におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 3 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 こフロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 環境への配慮 環境への配慮 環境への配慮	主要躯体の鉄骨基準強度F=355N以上F=440未満 内装材と設備を錯綜を避ける計画 4項目以上の有害物質を含まない材料あり	3.0 3.0 2.8 4.0 3.0 1.0 2.0 4.0 3.6 5.0 3.0 - 3.0 - 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.05 0.24 0.22 0.68 - 0.50 0.50 0.33	-	-	3.4 4.0
3 LR3	非再5 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 万染料 3.1 3.2 地球派 地域派	1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 生性資源の使用量削減 材料使用量の削減	主要躯体の鉄骨基準強度F=355N以上F=440未満 内装材と設備を錯綜を避ける計画 4項目以上の有害物質を含まない材料あり	3.0 3.0 2.8 4.0 3.0 1.0 2.0 4.0 3.6 5.0 3.0 - 3.0 - 3.0 - 3.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.05 0.24 0.22 0.68 - 0.50 0.50 0.33 0.33			3.4 4.0
3 LR3	非再5 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 万染料 3.1 3.2 地球派 地域派	1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 生性資源の使用量削減 材料使用量の削減	主要躯体の鉄骨基準強度F=355N以上F=440未満 内装材と設備を錯綜を避ける計画 4項目以上の有害物質を含まない材料あり	3.0 3.0 2.8 4.0 3.0 3.0 1.0 2.0 4.0 3.6 5.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.05 0.24 0.22 0.32 0.50 0.50 0.50 0.33 0.33 0.25 0.25		-	3.4 4.0
3 LR3	非再5 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 万染料 3.1 3.2 地球派 地域派	1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 生性資源の使用量削減 材料使用量の削減 1 既存建築躯体等の継続使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 非構造材料におけるリサイクル材の使用 非構造材料におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 3 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 2 プロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 環境への配慮 環境での配慮 1 過熱環境悪化の改善 1 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減	主要躯体の鉄骨基準強度F=355N以上F=440未満 内装材と設備を錯綜を避ける計画 4項目以上の有害物質を含まない材料あり	3.0 3.0 2.8 4.0 3.0 3.0 1.0 2.0 4.0 3.6 5.0 3.0 - 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.05 0.24 0.22 0.32 0.50 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25		-	3.4 4.0
3 LR3	非再5 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 万染料 3.1 3.2 地球派 地域派	1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 生性資源の使用量削減 材料使用量の削減 ! 既存建築躯体等の継続使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 3 非構造材料におけるリサイクル材の使用 5 持続可能な森林から産出された木材 6 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 2 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 温暖化への配慮 環境への配慮 環境への配慮 大気汚染防止 2 温熱環境悪化の改善 3 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制	主要躯体の鉄骨基準強度F=355N以上F=440未満	3.0 3.0 2.8 4.0 3.0 3.0 1.0 2.0 4.0 3.6 5.0 3.0 - 3.0 3.0 3.0 - 3.0 3.0 - 3.0 3.0 - 3.0 3.0 - 3.0 3.0 - - 3.0 - 3.0 - 3.0 - 3.0 - 3.0 - 3.0 - 3.0 - 3.0 -	0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.05 0.24 0.22 0.32 0.50 0.50 0.33 0.33 0.25 0.25			3.4 4.0
3 1 2	非再5 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染针 3.1 3.2 地域深 2.1 2.2 2.3	1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 生性資源の使用量削減 材料使用量の削減 2 既存建築躯体等の継続使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 3 非構造材料におけるリサイクル材の使用 3 持続可能な森林から産出された木材 6 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 2 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 環境への配慮 環境への配慮 環境への配慮 大気汚染防止 3 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制	主要躯体の鉄骨基準強度F=355N以上F=440未満	3.0 3.0 2.8 4.0 3.0 3.0 1.0 2.0 4.0 3.6 5.0 3.0 - 3.0 3.0 - 4.0 3.0 3.0 3.0 4.0 3.6 5.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.05 0.24 0.22 0.32 0.68 - 0.50 0.50 0.33 0.33 0.25 0.25 0.25	-	-	3.4 4.0
3 1 2	非再4 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染针 3.1 3.2 业域; 地域; 2.2 2.3	1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 * 性性演	主要躯体の鉄骨基準強度F=355N以上F=440未満	3.0 3.0 2.8 4.0 3.0 3.0 1.0 2.0 4.0 3.6 5.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.05 0.24 0.22 0.32 0.68 - 0.50 0.50 0.33 0.33 0.25 0.25 0.25 0.25		-	3.4 4.0 3.1
3 1 2	非再4 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染针 3.1 3.2 业域; 地域; 2.2 2.3	1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 *性質源の使用量削減 材料使用量の削減 ・ 既存建築躯体等の継続使用 ・ 服存建築躯体等の継続使用 ・ 非構造材料におけるリサイクル材の使用 ・ 非構造材料におけるリサイクル材の使用 ・ 非構造材料におけるリサイクル材の使用 ・ 持続可能な森林から産出された木材 ・ 部材の再利用可能性向上への取組み ・ 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 ・ フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 ・ 外環境 ・ 温暖化への配慮 ・ 環境への配慮 ・ 環境への配慮 ・ 表別環境悪化の改善 ・ 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 環境への配慮 騒音・振動・悪臭の防止	主要躯体の鉄骨基準強度F=355N以上F=440未満	3.0 3.0 2.8 4.0 3.0 3.0 1.0 2.0 4.0 3.6 5.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.05 0.24 0.22 0.32 0.50 0.50 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.2		-	3.4 4.0 3.1
3 1 2	非再4 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染针 3.1 3.2 业域; 地域; 2.2 2.3	1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 生性資源の使用量削減 材料使用量の削減 犯係材料におけるリサイクル材の使用 非構造材料におけるリサイクル材の使用 非構造材料におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 があれの再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 環境への配慮 環境への配慮 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制	主要躯体の鉄骨基準強度F=355N以上F=440未満	3.0 3.0 2.8 4.0 3.0 3.0 1.0 2.0 4.0 3.6 5.0 3.0 - 4.0 3.1 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.05 0.24 0.22 0.32 0.50 0.50 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.2			3.4 4.0 3.1
3 1 2	非再4 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染针 3.1 3.2 业域; 地域; 2.2 2.3	1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 生性資源の使用量削減 材料使用量の削減 認体材料におけるリサイクル材の使用 非構造材料におけるリサイクル材の使用 非構造材料におけるリサイクル材の使用 非構造材料におけるリサイクル材の使用 おかの再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 2 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 環境への配慮 環境への配慮 表汚表院施上 2 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 環境への配慮 環境・の配慮 環境・の配慮	主要躯体の鉄骨基準強度F=355N以上F=440未満	3.0 3.0 2.8 4.0 3.0 3.0 1.0 2.0 4.0 3.6 5.0 3.0 3.0 	0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.05 0.24 0.22 0.32 0.68 0.50 0.50 0.33 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.33 0.40 0.33 0.33	-		3.4 4.0 3.1
3 1 2	非再5 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 3.1 3.2 数地域 2.1 2.2 2.3	1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 生性資源の使用量削減 材料使用量の削減 2 既存建築躯体等の継続使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 非構造材料におけるリサイクル材の使用 非構造材料におけるリサイクル材の使用 非構造材料の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 2 フロン・ハロの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 環境への配慮 大気汚染防止 2 温熱環境悪化の改善 3 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 環境への配慮 環境への配慮 環境への配慮 環境への配慮 1 脈音 2 振動 3 悪臭	主要躯体の鉄骨基準強度F=355N以上F=440未満	3.0 3.0 2.8 4.0 3.0 3.0 1.0 2.0 4.0 3.6 5.0 3.0 3.0 	0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.05 0.24 0.22 0.32 0.68 0.50 0.50 0.33 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.33 0.40 0.33 0.33 0.33 0.33			3.4 4.0 3.1
3 1 2	非再5 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 3.1 3.2 数地域 2.1 2.2 2.3	1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2 既存建築躯体等の継続使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 3 非構造材料におけるリサイクル材の使用 3 非構造材料におけるリサイクル材の使用 3 非構造材料の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 2 フロン・ハロの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 環境への配慮 大気汚染防止 2 温熱環境悪化の改善 3 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 3 環境への配慮 環境への配慮 騒音・振動・悪臭の防止 1 騒音 2 振動 3 悪臭	主要躯体の鉄骨基準強度F=355N以上F=440未満	3.0 3.0 2.8 4.0 3.0 1.0 2.0 4.0 3.6 5.0 3.0 3.0 3.0 	0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.05 0.24 0.22 0.32 0.68 - 0.50 0.50 0.33 0.33 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.33 0.40 0.33 0.33 0.33			3.4 4.0 3.1
3 1 2	非再5 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 3.1 3.2 敷地 地域较 2.1 2.2 2.3	1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 * 性性演の使用量削減 材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 非構造材料におけるリサイクル材の使用 非構造材料におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない料料の使用 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 環境への配慮 環境への配慮 環境への配慮 大気汚染防止 温熱環境悪化の改善 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 環境への配慮 騒音・振動・悪臭の防止 1 騒音 2 振動 3 悪臭 風害・砂塵、日照阻害の抑制 1 風害の抑制	主要躯体の鉄骨基準強度F=355N以上F=440未満	3.0 3.0 2.8 4.0 3.0 3.0 1.0 2.0 4.0 3.6 5.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.05 0.24 0.22 0.32 0.68 0.50 0.50 0.33 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.33 0.40 0.33 0.33 0.33 0.33			3.4 4.0 3.1
3 1 2	非再5 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 3.1 3.2 敷地 地域较 2.1 2.2 2.3	1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 *性質源の使用量削減 材料使用量の削減 ・	主要躯体の鉄骨基準強度F=355N以上F=440未満	3.0 3.0 3.0 2.8 4.0 3.0 3.0 1.0 2.0 4.0 3.6 5.0 3.0 3.0 - 4.0 3.1 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.05 0.24 0.22 0.32 0.50 0.50 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.33 0.40 0.33 0.33 0.33 0.35 0.40 0.70 -			3.4 4.0 3.1
3 1 2	非再至2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染中 3.1 3.2 业域较 2.1 2.2 2.3 3.1	1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 *性質源の使用量削減 材料使用量の削減 ・	主要躯体の鉄骨基準強度F=355N以上F=440未満	3.0 3.0 3.0 2.8 4.0 3.0 3.0 1.0 2.0 4.0 3.6 5.0 3.0 - 3.0 3.0 - 4.0 3.1 3.0 3.0 3.0 3.1 3.0 3.0 3.0 3.1 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.05 0.24 0.22 0.32 0.50 0.50 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.2			3.4 4.0 3.1
3 1 2	非再至2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染中 3.1 3.2 业域较 2.1 2.2 2.3 3.1	1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 注性資源の使用量削減 材料使用量の削減 犯係材料におけるリサイクル材の使用 非構造材料におけるリサイクル材の使用 非構造材料におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 があれの再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 環境への配慮 環境への配慮 は、一般である。 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 5 光重の配慮 1 騒音 2 振動・悪臭の防止 1 騒音 2 振動・悪臭の防止 1 風害・砂塵、日照阻害の抑制 1 風害の抑制 2 砂塵の抑制 1 回馬の抑制 1 回馬の抑制 1 回馬の抑制	主要躯体の鉄骨基準強度F=355N以上F=440未満	3.0 3.0 3.0 2.8 4.0 3.0 3.0 1.0 2.0 4.0 3.6 5.0 3.0 - 4.0 3.1 3.0 3.0 3.7 3.0 3.0 3.0 3.0 3.1 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.05 0.24 0.22 0.32 0.50 0.50 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.33 0.40 0.33 0.33 0.33 0.35 0.40 0.70 -			3.4 4.0 3.1
3 1 2	非再至2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染中 3.1 3.2 业域较 2.1 2.2 2.3 3.1	1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 注性資源の使用量削減 材料使用量の削減 犯係材料におけるリサイクル材の使用 非構造材料におけるリサイクル材の使用 非構造材料におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 があれの再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 環境への配慮 環境への配慮 は、一般である。 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 5 光重の配慮 1 騒音 2 振動・悪臭の防止 1 騒音 2 振動・悪臭の防止 1 風害・砂塵、日照阻害の抑制 1 風害の抑制 2 砂塵の抑制 1 回馬の抑制 1 回馬の抑制 1 回馬の抑制	主要躯体の鉄骨基準強度F=355N以上F=440未満	3.0 3.0 3.0 2.8 4.0 3.0 3.0 1.0 2.0 4.0 3.6 5.0 3.0 - 3.0 3.0 - 4.0 3.1 3.0 3.0 3.0 3.1 3.0 3.0 3.0 3.1 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.05 0.24 0.22 0.32 0.50 0.50 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.2			3.4 4.0 3.1
3 1 2	非再至2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染中 3.1 3.2 业域较 2.1 2.2 2.3 3.1	1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 注性資源の使用量削減 材料使用量の削減 犯係材料におけるリサイクル材の使用 非構造材料におけるリサイクル材の使用 非構造材料におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 があれの再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 環境への配慮 環境への配慮 は、一般である。 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 5 光重の配慮 1 騒音 2 振動・悪臭の防止 1 騒音 2 振動・悪臭の防止 1 風害・砂塵、日照阻害の抑制 1 風害の抑制 2 砂塵の抑制 1 回馬の抑制 1 回馬の抑制 1 回馬の抑制	主要躯体の鉄骨基準強度F=355N以上F=440未満	3.0 3.0 3.0 2.8 4.0 3.0 3.0 1.0 2.0 4.0 3.6 5.0 3.0 - 4.0 3.1 3.0 3.0 3.7 3.0 3.0 3.0 3.0 3.1 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.05 0.24 0.22 0.32 0.68 - 0.50 0.50 0.33 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25			3.4 4.0 3.1